

第38回全国健康福祉祭さいたま大会(仮称)基本構想策定委員会(第1回) 議事概要

日時:令和5年5月15日(月)14:00~14:51

場所:埼玉会館 3C会議室

出席者:別紙出席者名簿のとおり※会議資料参照

1 開会

2 委員紹介

3 委員長及び副委員長の選任

基本構想策定委員会設置要綱第4条第2項の規定に基づき、委員長を委員の互選により選任し、委員長が副委員長を指名した。

委員長 埼玉県 副知事 堀光敦史 委員

副委員長 さいたま市 副市長 高橋 篤 委員

4 議事

本会議を公開とすることが議決された。

(1)全国健康福祉祭の概要【資料1】

(2)さいたま大会(仮称)開催までのスケジュール【資料2】

(3)第38回全国健康福祉祭さいたま大会(仮称)基本構想【資料3】

全国健康福祉祭の概要、さいたま大会(仮称)開催までのスケジュール及び第38回全国健康福祉祭さいたま大会(仮称)基本構想について、一括して事務局より説明。

【主な質疑・意見】

委員:開催会場はどこになるのか。

事務局:開催会場は、現時点では未定であり、今後、市町村及び各種競技団体に対して説明の上、事務局にて調整を進めて決定させていただきたいと考えている。

(4)基本方針(大会の目標)【資料4】

基本方針について事務局から説明。事務局案を基に、事務局にて具体的な内容を検討し、次の委員会で提案することになった。

【主な質疑・意見】

なし

(5)大会概要(名称、愛称、テーマ:公募、会期、参加予定人員、マスコットキャラクター)【資料5】

大会概要について事務局から説明。【主な質疑・意見】

委員:12頁の愛称「ねんりんピック彩の国さいたま2026」の西暦の読み方であるが、「にせんにじゅうろく」でよいか。場合によっては、「にいぜろにいろく」や「にいまるにいろく」などの読み方もあるがどうか。

事務局:先催県において様々な読み方があるため、どういう読み方が適切か事務局にて検討・調整させていただきたい。

委員:6頁の「ねんりんピックの概要」の資料では、主催が「厚生労働省」「開催都道府県」「(一財)長寿社会開発センター」となっているが、説明の中では主催者に「さいたま市」も入っているため、整合性について確認したい。

また、主催に「さいたま市」が入るとすると、マスコットキャラクターは県のマスコットを使う、となっているが、さいたま市のマスコットキャラクターを使わなくてよいのか。

事務局:国の資料上は「開催都道府県」となっているが、先催県の例では、政令市のある都道府県については、県と政令市の主催となっている。国の要綱に明記はないが、慣例として「県と政令市」が主催に名を連ねているため、このようにさせていただきたい。

また、マスコットキャラクターについてであるが、例えば先催県の神奈川県には、政令市として横浜、川崎、相模原があるが、県のキャラクターである「かながわきんたろう」を使用している。先催県においても多くのキャラクターを設定しているわけではないため、県のキャラクターとさせていただきたい。

委員:経営上の話として、ねんりんピックの主催者である「埼玉県」「さいたま市」は経済的に多く負担するのか。

事務局:来年以降、県は県実行委員会を、市町村は市町村実行委員会を立ち上げることになる。実際に大会を運営する市町村実行委員会に対して、県の実行委員会から補助を行う形になるが、具体的な負担についてはこれからの調整となる。

委員:大会の名称について、埼玉県とさいたま市との間で話をしたうえで「埼玉大会」との名称が提案されていると思うが、第34回の神奈川の大会名は「神奈川・横浜・川崎・相模原大会」となっている。「埼玉・さいたま」大会でなくてよいのか。あるいは、一般的な表記とするのであれば、ひらがなで「さいたま」となることもあると思うがどうか。

事務局:漢字とひらがなの表記について、先催県において県と政令市が同じ場合は県名を使っているところが多く、愛称のほうで「彩の国さいたま」とひらがなを、正式名称で漢字を使わせていただきたいと考えている。

※ 委員からの意見を踏まえ、委員長から事務局で引き取って検討するよう指示があり、次の3点について事務局にて調整を行った。

①名称「第38回全国健康福祉祭埼玉大会」、愛称「ねんりんピック彩の国さいたま2026」

共催者である「さいたま市」を大会名称・愛称に入れた方が良いのではないかと。

②愛称の2026の読み方

「にせんにじゅうろく」、「にーまるにーろく」など、どのように読ませるのか。

③マスコットキャラクター コバトン&さいたまっち

先催県の例に倣い、県のマスコットのみを使用するか。

【事務局検討結果】

①調整結果:改めてさいたま市と調整し、愛称に「さいたま」が入っていることを踏まえ、名称・愛称とも「事務局案のとおりで了解を得た。

名称「第38回全国健康福祉祭埼玉大会」

愛称「ねんりんピック彩の国さいたま2026」

②調整結果:事務局(県・さいたま市)調整の結果、先催県の例に倣い、読み方は、2026(にせんにじゅうろく)」とすることで一致した。

読み方「ねんりんピック彩の国さいたま2026(にせんにじゅうろく)」

③調整結果:事務局案のとおりとし、市のキャラクターは各市の催しの中で活用していただく。
県のマスコットコバトン&さいたまっちを使用

(6)事業体系(総合開会式・閉会式会場、交流大会実施種目及び会場地)【資料6】

【主な質疑・意見】

なし

(7)その他

【主な質疑・意見】

委員:ねんりんピックに関する「事業評価」についてどう考えているのか。選手団や参加者など50~60万人ほどが関わるねんりんピックを開催することで、県民・住民の方の意識がどう変わったのかなど、最終的な報告に必要であると思う。計画の段階で設定しておくほうが最終的な総括ができると思うがどうか。

事務局:先催県では大会が終了したときに、大会の概要をとりまとめて報告書を作成しており、事業実施の過程においてアンケートなどをとっている。埼玉大会でどのように評価をしていくのかは現時点ではまとまっておらず、基本構想の中にはその内容を盛り込む箇所はないが、いただいた視点をもって取り組んでまいりたい。

委員:終わってからの評価では難しい部分があるので、時間等の兼ね合いもあると思うが、最初に評価があったほうが後で評価しやすいと思われるので検討いただきたい。

委員:宿泊施設について、前もって具体的に関係団体あてに相談はあるのか。

事務局:来年度に実行委員会を立ち上げる中で、関係団体に宿泊部門の委員会にご参加いただき、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

(以上)